

## 児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年1月12日

事業所名 あゆっこ江津

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員と個人プログラムを行うスペースとの関係が適切であるか	6				
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1			今後の事業継続のことを考えると、業務に携われる職員の育成が必要である。
	3	活動空間は本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	2		子どもの特性に合わせて室内の環境を調整している。	
	4	活動空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	6			使用後に部屋や玩具の清掃、消毒をしている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			スタッフ全員で定期的に検討会を実施し、個人プログラムの確認を行っている。	
	6	保護者等向け評価表により保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			年1回アンケートを実施し、保護者の意向の把握に努めている。	
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			ホームページで公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		5	1		第三者による外部評価の実施を検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1			今後も積極的に研修に参加する。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6				
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		定期的実施される心理評価の情報を共有している。	
	12	児童発達支援計画には、「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6				

	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6				
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	2	1	個人プログラムで対応しているので、日々の課題は担当者が立案。定期的にスタッフ全員で計画内容を検討している。	
	15	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	5	1		課題の達成状況をみながら、ステップアップを図っている。	
	16	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1		毎朝ミーティングを行い、その日の確認をしている。	
	17	支援終了後には、職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	5		決まった時間は設けていないが、子供の様子等は日々話しあって情報を共有している。	中間評価の場を通して、職員間で支援を振り返り、情報共有を図っていく。
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6				
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6			定期的な中間評価に基づいて児童発達支援計画の見直しを行っている。	
	20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	5	1		個人プログラムの課題として実施可能な活動は取り入れている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			担当者、または児童発達支援管理責任者が参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6			母子保健とはケースに応じて連携している。就学に際しては教育委員会と連携している。市町村が行っている巡回相談へスタッフが参加している。	
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合は、地域の保健、医療、障害福祉、保育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	1		派遣型の利用者において医療や保健、障害福祉等と連携しながら支援をしている。	
	24	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5	1		派遣型の利用者において主治医と連絡体制を整え、地域の医療によるバックアップを受けている。	
	25	移行支援として、保育所や幼稚園、認定子ども園との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6			ケースにより園との情報共有を図っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図	6			就学移行支援として就学先小学校へ「引き継ぎ」を実施し、情報共	

		っているか				有を図っている。	
	27	発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	2	必要なケースについて連携して対応している。	
	28	地域自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	2	2	市が主催する巡回相談に参加している。	
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6				今後も個人プログラムの実施内容と子どもの状況についてわかりやすく保護者にお伝えしていく。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		3	3		プログラムとしては実施していないが、個々の家族に対して引き続き相談、助言等を行っている。
保護者への説明責任等	31	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6				
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6				児童発達支援計画の説明が一方的にならないよう保護者の意見を伺いながら丁寧に説明していく。
	33	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			保護者との面談は日頃から実施し、必要に応じて助言や支援につなげている。	
	34	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			センター内に苦情受付窓口を設置して体制を整備するとともに、第三者委員や県の相談窓口についても保護者へ周知している。	
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		3	3	事業所独自の会報は発行していないが、当センターの会報に参画し、発信している。	
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6				引き続き個人情報は慎重に取り扱うよう注意する。
	37	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			保護者との伝達事項は掲示や言葉だけではなく、用紙に記入しお渡ししている。また、わかりやすい書類の作成を心掛けている。	
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	2	事業所単独では実施していないが、センターの行事に参画している。	新型コロナウイルス感染予防のため、地域との交流事業を控えているが、状況が落ち着けば再開する。
	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知して	3	2	1	センターが策定しているマニュアルに基づいて対応している。	各種マニュアルが策定されていることを周知するための方策を検討していく。

非常時等の対応		いるか					
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	5	1		センターの訓練に参加しているが、事業の性質上利用者の参加は難しい状況にある。	
	41	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	6			アセスメントで聞き取りをし、確認している。	
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1			
	43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			虐待防止委員会主催のグループワークに参加している。	今後も虐待についての意識を高める取り組みをしている